

入 試 年度	2026 年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026 年 2 月 24 日
課程	博士前期課程	研究科	文学研究科	専攻・ コース	臨床人間学専攻教 育学専修
入 試 方式	一般入学試験		試験科目	英 語	
「解答」または「解答例」及び「出題の意図」					
【解答】 or 【解答例（採点時の観点）】					
[1]					
著作権の関係で解答例を示せない。					
[2]					
20 世紀まで、主要な先進国はすべての子どもに対する公教育を提供してきた。19 世紀から 20 世紀にかけてこれらの学校が形作られてきたときには、科学者たちは人がどのように学ぶかについてよく理解していなかった。学校が今日知られているように大きな官僚主義的組織になり始めた 1920 年代になっても、どのように人が学ぶのかに関する持続的な研究は行われなかった。その結果、現在の学校は以下のような科学的に立証されていない常識的な前提に基づいてデザインされている。					
・知識は世界についての事実や問題を解決するための手順の集積である。事実とは、「地球の自転軸は 23.45 度傾いている」というものであり、手順とは、繰り上がりのある桁数の多い足し算をどのようにやるかについての段階的な方法のことを指す。					
・学校教育の目標は、これらの事実や手順を生徒たちの頭に注入することである。これらの事実や手順を多く身につけている人がよく教育された人とみなされる。					
・教師はこれらの事実や手順を知っており、生徒たちにそれを伝達することが仕事である。					
・より単純な事実や手順を最初に学ぶべきであり、続けてより複雑なものにつなげていくべきである。「単純さ」と「複雑さ」の定義や教材の適切な配列は、子どもたちが実際にどう学ぶかではなく、教師や教科書の著者、または数学者や科学者、歴史学者などの専門家によって決定される。					
・学校教育の成功を決めるのは、生徒たちがどれだけ多くの事実と手順を身につけたかによって測定される。					
この伝統的な学校教育の見方は「教授主義」(Papert, 1993)として知られている。教授主義は 20 世紀初頭の工業化された経済に備えて生徒たちを育成した。しかし、今日の世界は技術的な複雑さも経済的な競争も激化しており、教授主義は生徒たちがこの新しい社会に参加するための教育に失敗している。					

【出題の意図】

[1]

著作権の関係で解答例を示せない。

[2]

教育に対する考え方が時代の移り変わりとともにどう捉えられるようになっているかについての言説を正しく読解できるかどうかを見ること。

合否判定の方法及び基準

入学試験は文学研究科のアドミSSIONポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。

合否判定については、本研究科のアドミSSIONポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。